



J A 自 己 改 革
ニ ュ ー ス

JAひすいでは、毎月「JA自己改革ニュース」を発行し地域の皆さんにJA自己改革の内容・進捗をお知らせしています

准組合員はJAでどんな役割を担っているの？

JAは農業者を中心とする協同組合です。しかし、地域の農業を豊かにするためには、農業者だけではなく、消費者や地域の皆さんの理解も重要です。「食」と「農」をつなぐことで、地域と地域の農業をより豊かにするために、JAには「**准組合員**(農業者以外の方でも、一定の出資金を払えば、JAの事業を正組合員と同じように利用できるというもの)」の仕組みがあります。

准組合員になることで、JAが行っているさまざまなくらしに関わる事業を利用することができます。金融をはじめとした各支店やガソリンスタンド、高齢者福祉事業など地域の課題を解決するJAの総合事業は、**地域に必要不可欠**と言えるでしょう。

JAグループでは、准組合員を農業や地域を支える**重要な仲間**と位置付けています。具体的には「**農業振興の応援団**」、さらには正組合員とともに「**地域振興の主人公**」として位置付けるよう提起しています。今後は、**准組合員の声を積極的にJA運営に反映する仕組み**を用意することも重要です。

地域のみんなで地域を支える仕組みを育みましょう。

「農業機械安全講習会」開催！



8月1日(水)、農機課が、西能生地区公民館と大和川地区公民館を会場に「**農業機械安全講習会**」を開き、地元組合員や農業法人の皆さん約40人が参加しました。秋の農繁期を迎える前に機械操作や点検方法などの講習を実施して、安全に収穫作業を行うための知識や危険箇所を再確認してもらい、**事故防止の徹底**を図る目的があります。

当日は、農機課職員が、農作業事故の特徴を挙げ、それぞれの対策や作業中に注意すべき点を参加者に説明。また、過去に起こった農作業事故の事例から読み取れる要因や安全対策を分かりやすく解説しました。事故の状況説明に息をのむ参加者の姿もあり、事故防止への意識が高まりました。

JAひすいの木島農機課長は農作業事故防止に関して「**安全な農作業の基本を守り、絶対農作業事故を起こさない、大切な家族を悲しませない、と強い気持ちで農作業に取り組んでほしい**」と語りました。



農業機械安全講習会の様子